

令和6年7月24日

令和6年度 1学期終業式あいさつ

校長 都丸利幸

- みなさん、おはようございます。校長の都丸です。本日で、1学期が終了し、明日から夏季休業期間となります。
- 夏季休業中の計画は既に立っているでしょうか。3年生のみなさんは、暑い時期にはなりますが、進路先訪問など計画されていると思います。
- 物事を計画的に進めるためには、まずは体調管理が必要となります。休み中だとしても、しっかりとした生活習慣を整えるようにしてください。
- さて、7月3日には新しい紙幣の発行がありました。3種類のお札が新しくなりました。肖像の3名はご存知でしょうか。一万円が「渋沢栄一氏」、五千円には「津田梅子氏」、千円札は「北里柴三郎氏」ですね。各人物の功績については、みなさんで調べてもらいたいと思っています。
- ところで、お札を新しくする目的はなんでしょうか。偽造対策の強化とユニバーサルデザインの向上といわれています。
- 霧が丘高校は、インクルーシブ教育実践推進校です。新しいお札には、どのようなユニバーサルデザインが施されているのかは、やはり知っておくべきだと私は考えています。どのようなユニバーサルデザインが施されているかご存知でしょうか。
- 今回の新札発行にあたり主に4点を変更しているそうです。
 - 一点目は、識別マークの配置や形状の変更だそうです。識別マークとは、指で触ってお札の違いを識別できるよう、インキを高く盛り上げる特殊な印刷方法によりお札の表面にざらつきを作っているものです。これまでのお札は種類ごとに異なる形をしていましたが、新しいお札では、11本の斜線に統一したそうです。そのうえで、お札の種類ごとに配置を変えて識別しやすくようにしたそうです。
 - 二点目は、すき入れの位置の変更です。これまでのお札は全てお札の中央にすき入れがありました。新たなお札では五千円札のすき入れの位置を表面から見て左側に変更したそうです。一万円札と千円札はこれまで通りだそうです。
 - 三点目は、ホログラムの形状の変更です。ホログラムは触るとつるつるとしているので、これが識別ポイントになります。一万円札と五千円札は、お札を横長に持った時に上から下までつながるよう長細いホログラムが貼ってあります。これまではホログラムがなかった千円札には四角形のホログラムが表面左下に貼ってあります。

最後の四つ目は、額面の金額の数字がこれまでの数字よりも大きくなっています。表面は2倍から3倍、裏面は5倍ほどになっているようです。

まだまだ、新しいお札には新しい工夫がされています。みなさんも、新札を手にした際に、ユニバーサルデザインについては、確認してみてください

- さらに、ユニバーサルデザインは、色々なところにあります。インクルーシブ教育実践推進校の生徒として、しっかりと意識をしていただきたいと思います。
 - 最後に、始業式でもお話をしましたが、7月26日からオリンピックが始まります。前回の東京オリンピックでは、ピクトグラムが開会式で紹介されていました。これもユニバーサルデザインです。
 - 今回の開会式は、セーヌ川で行われるようです。どのような開会式がおこなわれるのか、本当に楽しみです。
 - 始業式でお話したとおり、オリンピックには、オリンピック憲章というものがあり、その中の一つには、国や地域を越え、いかなる差別をも伴うことなく、平和でよりよい世界をつくることに貢献することが掲げられています。
 - 私は、オリンピックは素晴らしいと思います。スポーツで世界が平和になってほしいと考えています。みなさんも是非そんな目的を持って開催されているオリンピックに興味を持ってもらえると嬉しいです。
- ただし、今回は、フランスでの開催のためテレビでの中継は夜中になりますので、直接見ると生活習慣が乱れることになりますので、ご注意ください。
- それでは、暑い日が続くようですが、体調管理をしっかりと行い、計画的な夏休みを過ごしてください。

8月28日の始業式には、みなさんの明るく元気な笑顔を楽しみにしています。